



富士河口湖町教育センターだより



NO.24 平成20年8月発行

《カウンセリング講座・実習を開催》



夏休みに入り、学校の先生方の研修が多く実施される中、町教育センター主催の「カウンセリング講座」と「カウンセリング実習」を開催しました。

8月1日(金)は健康科学大学講師の石原廣人先生にお願いし「カウンセリング講座」を実施しました。21名の参加者がありました。カウンセリングとはどのように行うか、ということから始まり、タイプの違うカウンセラーのやり方をDVDで視聴したり、発達障害についての具体例を挙げながらどのように接していくか、自分のスタイルをいかに確立して積極的に関わっていくかなどを講義していただきました。また、自分の思う自分のイメージと他人が思うイメージの違いを文章にしてみる試みも行いました。

8月7日(木)8日(金)の2日間の日程で「カウンセリング実習」を実施しました。講師は長年富士河口湖町の教育相談員も務められているカウンセラーの川辺修作先生です。7日は14名、8日は11名の参加者でした。1日目に川辺先生によるカウンセリングのロールプレイを行い、相談担当者の「繰り返し・基本姿勢・アドバイス」等のあり方について勉強しました。2日目はグループエンカウンターを行い、参加者全員による自己理解を深め、仲間作り・信頼感の作り方を学びました。相手を知る・積極的に関わるということによって人間性を尊重し、信頼する感情が出てきたり、自分の感じたことを率直に伝えることを大切にする行為を行いました。

両講座・実習共に好評でした。来年度もこのような研修を実施していきたいと思えます。



* 参加者の声 *

私たち教師の「教える」という習性を土台にした方法を話していただけたので安心してきけました。子ども達との関わりの中で自分の態度を振り返ることができました。技法や心掛けていることなどポイントも話していただき分かりやすく楽しく研修できました。人の温かさを感じるものでした。日々に活かしていきたいと思えます。